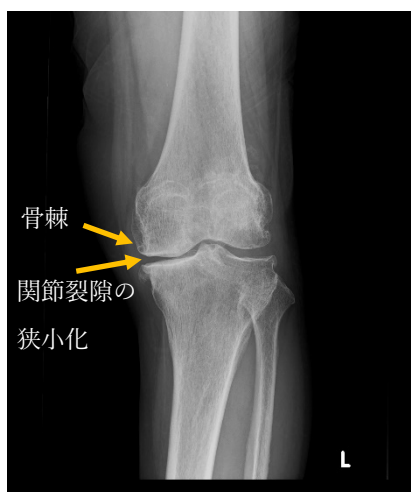


* 関節

変形性関節症(股関節・膝関節)

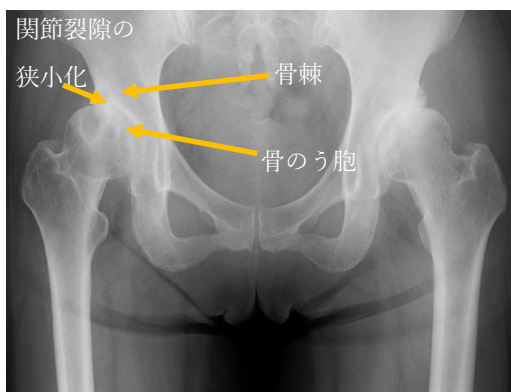
変形性関節症とは関節の軟骨が擦り減ることで、関節の隙間が狭くなったり(関節裂隙の狭小化)、骨に穴が開いたり(骨のう胞)、棘ができたり(骨棘)し、軟骨や骨が傷んでくることで、関節や関節周囲の痛みを感じるようになります。階段の上り下りや歩く時、ひどくなると寝ている時(安静時)にも痛みを感じるようになります。日常生活に支障を来します。当院では、このような痛みに対し筋力訓練の指導・投薬・関節注射などの保存的治療を行い、それでも症状が良くならない場合は人工関節の手術を行います。人工関節とは、傷んだ軟骨と骨を一部切除し金属を骨にはめ込んで、間に人工軟骨(丈夫なポリエチレン)を挿入して関節を作る手術です。術後はリハビリテーションをしっかり行い、関節の動きを改善させ、筋力もつけることで徐々に術後の痛みを軽減あるいは消失させ、これまで困難であった日常生活での動作ができるだけ快適になることを目指します。



変形性膝関節症の手術前



変形性膝関節症の手術後
(人工膝関節置換術後)



変形性股関節症の手術前



変形性股関節症の手術後
(人工股関節置換術後)